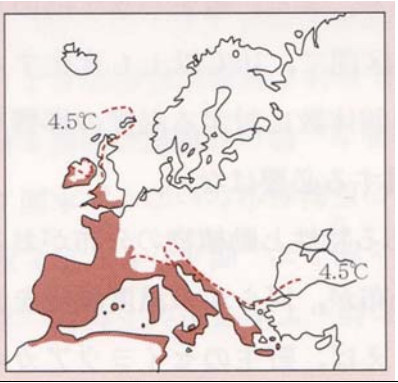




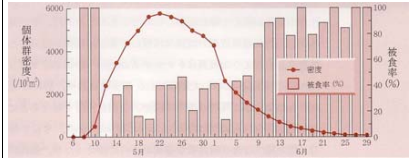
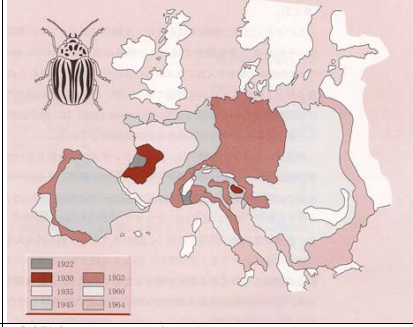
## 『生態学』2刷にあたっての修正一覧

本表では、本書増刷あたって行った、訳語/訳文の見直し、誤訳の訂正、誤字脱字の訂正、図版の訂正等のみを一覧しています。  
 したがって、フォントの変更、原語の併記（あるいは併記する場合の単数形/複数形の統一）、略語のスペルアウト、送りがなの見直し等、意味上の変更ではない部分は省かれています。  
 なお、ページ数は初版のもの、本文の行数は、節・項見出し（セクション番号の付いた見出し）、図表のキャプション等を除いた、本文と数式を数えた数となっています。

頁	行/部分/図表番号	初版	2刷	備考
扉裏	copyright表示	1999	1996	
ii	4	本質	特性	natureの訳語「本質」を「特性」に変更します
1	2	特徴	特性	
	4	特徴	特性	
	10	性質	特性	
	21	特徴	特性	
5	25	「適合」	「対応」(match)	
7	4	...状況に対処し、将来にそなえる方法は...	...状況に対処し将来にそなえるやり方は、...	
9	図1.1 左下方	腹ビレ分離したまま	腹ビレは分離したまま	
10	23	Wagener (1915)	Wegener (1915)	
12	15	再構築	復元	
16	図1.5 凡例	280	320	
21	図1.8 キャプション1行目	染色体の縞模様分析...	唾腺染色体の横縞像分析...	
26	図1.11	左上部「ヤマノイモ属(ヤマノイモ科)」	「ヤマノイモ属(ヤマノイモ科) (つる状の茎)」として図の左端中程に移動	
27	3	うっぺいした	うっそうとした	
30	見出し1.4.1	生物相	バイオーム	本書全体として biomeの訳語を「バイオーム」に変更します
	16	生物相 (バイオーム biome)	バイオーム(biome)	
	16	生物相	バイオーム	
	17	生物相	バイオーム	
	23	生物相	バイオーム	
	24	生物相	バイオーム	この行の2箇所とも
	25	生物相	バイオーム	
	26	生物相	バイオーム	
31	図1.13 キャプション	生物相	バイオーム	
32	図1.14 キャプション	生物相	バイオーム	
33	図1.15 キャプション	生物相	バイオーム	
34	3, 5, 6, 18, 24, 25	生物相	バイオーム	
38	図1.17 キャプション	マレーシア半島	マレー半島	
44	表1.3 6行目	生長サイクル	成長サイクル	
	2	Antonovics	Antonovics	
49	図1.21 二段目のグラフ上部		「59インチ」の文字を右に6ミリ移動	
	図1.21 二段目のグラフ		グラフ中の破線を1ミリ下げる	
	図1.21 三段目のグラフ		グラフ中の破線を0.5ミリ下げる	
54	16	...語義上、操作概念上...	...語義上、および操作概念上...	
56	5	増加する	高まる	この行の2箇所とも
	6	増加する	高まる	
	26	...つくり出している、高い気温...	...つくり出している、夏期に高い気温...	
58	図2.3 (a)			
58	図2.3 (c)			
65	表2.1 キャプション	溶解度	濃度	3箇所とも全て

『生態学』修正一覧

67	4	水温が25~-25℃に変化	水温が25から-25℃に低下	
		4つ目の道標	位置を本文の21行目の左に移動	
69	図2.7(b)左 縦軸	凍結耐性	耐凍性	
70	図2.8 キャプション4行目	scudderiana 幼虫	scudderiana の幼虫	
75	23	噴火口	噴出口	
78	図2.13 左上方		縦軸の左の矢印を削除し、℃記号を上げる	
83	2つ目の道標		位置を本文11行目の横に	
		3つ目の道標	位置を本文17行目の横に	
84	図2.17		右中程の+記号を削除	
86	図2.18 上部の凡例	最大	最高	
		最小	最低	
87	18	...意味している。乾燥...	...意味しているこの空気中への曝露という言葉には乾燥...	
		20	...などがこの空気中への曝露という言葉には含まれ...	
		22-23	亜潮間帯	潮下帯
91	2	catastrophes	catastrophe	
		15	トレンド	傾向
101	図2.26			
104	15	...何を消費するかによって、...	...何かを消費することで、...	
106	図3.2			
107	図3.3	見出しの「1年周期」「2年周期」	それぞれ、「年周期」「日周期」	
		3	他の葉によって変化させられてしまう...	他の葉によって変化してしまう...
108	1	...資源の供給量への生物や...	...資源の供給量に対する生物や...	
109	図3.4 キャプション5行目	...モロコシは...	...モロコシ(ソルガム)は...	
111	9	主に気孔コンダクタンス (stomatal...	主に気孔伝導度 (コンダクタンス) (stomatal...	
		19	乾燥にさらされやすい	乾燥にさらされやすい
113	5	光合成速度	総光合成 (光合成速度) (gross photosynthesis)	
		図3.5 キャプション	純光合成速度の決定要因	純光合成の決定要因
114	1	...48%を得ることができないでいる	...48%を失っている	
115	14	混合落葉樹林	混交落葉樹林	
116	図3.6 キャプション	混合落葉樹林	混交落葉樹林	
117	9	この経路	このC <sub>3</sub> 経路	
118	図3.7 (b)図の横軸	夏の蒸発散量	夏の総蒸発量	
121	7	セクロピア科	セクロピア属	
		8	コショウ科	コショウ属
		9	(マメ科)	(マメ科センナ属)
		11-12	...小さくなってゆき、また種によって	...低下してゆき、種によって
122	5	...溶質が水素結合で水分子の...	...溶質が、水素結合によって水分子の...	
124	12	...直根に投資してしまうと...	...直根に投資してしまうような発育様式をもつ実生だと...	
126	3	多量栄養元素	多量栄養素	
		4	微量栄養元素	微量栄養素
131	2	生物的酸素要求量 (biological O <sub>2</sub> demand...	生物化学的酸素要求量 (biological oxygen demand...	
		10	たり、呼吸速度を...	たり、またある場合には呼吸速度を...
132	5	...餌資源となる、一連の...	...餌資源となるような、一連の...	
		28	多食性 (polyphagous)	多食性 (polyphagy)

134	図3.15 (a)			
135	図3.16 左下	オオフラミンゴ ( <i>Phoenicopeterus ruber</i> )	ベニイロフラミンゴ ( <i>Phoenicopeterus ruber</i> )	
136	図3.17 凡例	アカアシクチプトゾウムシ ( <i>Otiorrhynchus clavipes</i> )	アカアシクチプトゾウムシ ( <i>Otiorrhynchus clavipes</i> )	
		キイチゴアブラムシ	キイチゴアブラムシ	
		ゾウムシの一種	キンケキクトゾウムシ属の一種	
139	3	高いのは、篩管、塊茎、一部の	高いのは、篩管や、塊茎と一部の	
140	26	群集については	群集についての総説としては	
145	21	イチモンジチョウ	タテハチョウ科のオオイチモンジ	
147	11	ケンミジンコの一種	オナガケンミジンコ	
151	4	資源の次元は、条件に適用...	資源の次元は、環境条件に適用...	
153	2	( <i>Lagopus lagopus lagopus</i> )	( <i>Lagopus lagopus</i> )	
	図3.23 図中表記	緩衝帯	緩衝帯	2箇所とも
	図3.23 キャプション	( <i>Lagopus lagopus lagopus</i> )	( <i>Lagopus lagopus</i> )	
163	図4.3 (b) 横軸の右端の数値	...9 11 12 (月)	...9 10 11 (月)	
169	図4.9 (b)	蛹の数の常用対数値 ( $\log_{10}$ )	蛹の数 ( $\log_{10}$ )の常用対数値	
188	12	超年大量結実	一斉結実 (マスティング、豊凶)	mastingの訳語を「一斉結実」に変更します
	13	大量結実	一斉結実	
	14	大量結実	大量に結実	
	16	超年大量結実	一斉結実	
192	見出し4.7.2	変数	パラメータ	
205	19	...どちらかだけを攻撃する...	...どちらかだけに取付く...	
207	9	...同種個体と近くにいることで...	...同種個体の近くにいることで...	
208	12	大量結実年	一斉結実年	
	15	大量結実年	一斉結実年	2箇所とも
	図5.2			
213	図5.4			
214	18	...感染様式との間に、一定の関係...	...感染様式との間にも、一定の関係...	
215	図5.5 キャプション2行目	熱帯の樹木 <i>Lonchocarpus pentaphylla</i>	熱帯のマメ科の樹木 <i>Lonchocarpus pentaphylla</i>	
218	図5.7 キャプション2-3行目	...運ばれたコナラ属 <i>Quercus</i> の堅果...	...運ばれたコナラ属 <i>Quercus</i> のドングリ	
220	4-5	...役に立たないこともあるのは明らか...	...役に立たないことは明らか...	
223	図5.10 キャプション	ジュズヒゲムシ属 <i>Zorotypus hubbardi</i>	ジュズヒゲムシ属の一種 <i>Zorotypus hubbardi</i>	
		ワタリアブラムシ属 <i>Aphis pomi</i>	ワタリアブラムシ属の一種 <i>Aphis pomi</i>	
225	1	Jhonsen & Gaines, 1990	Johnson & Gaines, 1990	
228	3	地域個体群	局所個体群 (local population)	
229	12-13	...休眠はととも...	...休眠はきわめて...	
	16	耐性	抵抗力	
236	図5.14 中程左	旧北海区	旧北区	
238	1つ目の道標	...亜種によっても異なる	...亜種によっても異なる	
239	4	...海水へ移動する.	...海へ移動する.	
240	7	...1977で概説されて...	...1977にまとめられ...	
	13	オオカバマダラ...	マダラチョウ科のオオカバマダラ...	
241	2	不確実な	不確実な	
	14	不確実な	不確実な	
242	5	ジェルドリン	ディルドリン	
273	11	変数	パラメータ	

## 『生態学』修正一覧

281	図6.27 中程	安定リミットサイクル	安定周期軌道	limit cycleの訳語は「周期軌道」で統一します
282	27-28	リミットサイクル	周期軌道	
	33	リアプノフ指数	リアプノフ (Lyapunov) のべき指数	
283	1	リアプノフ指数	リアプノフのべき指数	
	18	リミットサイクル	周期軌道	
285	3	リアプノフ指数	リアプノフのべき指数	
	5	リアプノフ指数	リアプノフのべき指数	
	8	リアプノフ指数	リアプノフのべき指数	
300	23	種の限界線 (species boundary line)	種の限界線 (最多密度線) (species boundary line)	
315	2	...生意込んで...	...勢い込んで...	
	2-3	(Muller, 1971)	(Muller, 1969)	
	34	Jacson (1979)	Jackson (1979)	
316	図7.14 キャプション2行目	<i>T. angustifolia</i>	<i>T. angustifolia</i>	
323	29	<i>G. pumilum</i>	<i>G. pumilum</i>	
326	見出し7.5	何もない状態からの競争	先取り型競争	
333	8	変数	パラメータ	
336	表7.3	ロプスター	ロプスターの一種	
		タコ	タコの一種	
		肉食性巻貝	肉食性巻貝の一種	
337	図7.13 (a)左	肉食性巻貝	肉食性巻貝の一種	
	図7.13 (c)	アサリ	キクザルガイ属	2個所とも
	図7.13 キャプション 5行目	アサリ	キクザルガイの一種	
	6行目	アサリ	キクザルガイの一種	
	7行目	アサリ	キクザルガイの一種	
339	図7.14 (b)凡例	ヴェイマネラ	ヴェイマネラ	
	図7.14 (c)凡例	アオウキクサ属の一種	サンショウモ属の一種	凡例の上下を入れ替え
		サンショウモ属の一種	アオウキクサ属の一種	
342	3	変数	パラメータ	
344	13	Abramski	Abramsky	
345	図7.18 (b)	<i>P. californicus</i>	<i>P. californicus</i>	
359	6	再生	更新	
362	図7.30	@	①	2個所とも
		A	②	2個所とも
		B	③	2個所とも
		C	④	
		D	⑤	
		E	⑥	
378	8	ニレ立ち枯れ	ニレ立ち枯れ	
385	13	超年大量結実	一斉結実	
	16	超年大量結実	一斉結実	
	18	大量結実	一斉結実	2個所とも
386	4	大量結実	一斉結実	
	5	大量結実	一斉結実	2個所とも
	9	大量結実	一斉結実	
	11	大量結実	一斉結実	
	図8.11 キャプション	大量結実	一斉結実	
	図8.11 (b)縦軸 (上から)	120, 80, 40	60, 40, 20	
387	10	0.3	0.30	
393	17	石灰藻	石灰藻	
	18	石灰藻	石灰藻	
	19	石灰藻	石灰藻	
426	図9.18 縦軸	遭遇確率	遭遇率	
451	9	アカライチョウ	カラフトライチョウ	<i>Logopus logopus scoticus</i> の訳は「カラフトライチョウ」とします
	10	アカライチョウ	カラフトライチョウ	
	12	アカライチョウ	カラフトライチョウ	2個所とも
	17	アカライチョウ	カラフトライチョウ	
452	18-19	リミットサイクル	安定周期軌道	
453	図10.10 キャプション3行目	リミットサイクル	安定周期軌道	
454	4	隠れ場所	隠れ場所 (リフュージ)	
460	7	...捕食者と被食者の相互作用という観点...	...捕食者と被食者の相互作用を見るという観点...	
475	23	ザウルクラウト	ザウアークラウト	
490	5	セルローズ	セルラーゼ	
	15	セルローズ	セルラーゼ	
494	24	ユスリカ ( <i>Chironomus lugubris</i> )	ユスリカ属の一種 ( <i>Chironomus lugubris</i> )	
519	18	コベボータ類	カイアシ類	
526	29-30	ある寄生個体群の感染寄主...	ある寄生個体群 (寄生されていない寄主を含む) の感染寄主...	
530	図12.15 (b)	<i>Skrjabinodon</i> spp.	<i>Skrjabinodon</i> spp.	
535	6	アカライチョウ	カラフトライチョウ	
549	21	アカライチョウ	カラフトライチョウ	
550	図12.27 キャプション9行目	アカライチョウ	カラフトライチョウ	
556	見出し12.6.3	アカライチョウ	カラフトライチョウ	
	1	アカライチョウ	カラフトライチョウ	
	図12.31 キャプション1行目	アカライチョウ	カラフトライチョウ	
	キャプション4行目	アカライチョウ	カラフトライチョウ	
557	図12.32 キャプション1行目	アカライチョウ	カラフトライチョウ	
570	20	<i>Myrmica schenkii</i>	<i>Myrmica schenkii</i>	
571	11	<i>Myrmica scabrinoides</i>	<i>Myrmica scabrinoides</i>	
	12	<i>M. laevonoides</i>	<i>M. laevonoides</i>	
574	5	...種子や実のある距離運んで...	...種子や実のある距離だけ運んで...	

『生態学』修正一覧

582	図13.10 (a)の見出し	寄生生物	寄主生物	
595	9	浮遊生物の藻類を...	藻類の懸濁液を...	
	12	液胞	空胞	
627	5	超年大量結実	一斉結実	
631	図14.10 (d)の右図 縦軸	現在の生長線	現在の成長線	
637	24	ズズメノカタビラ	ズズメノカタビラ	
638	図14.13 キャプション3行目	ズズメノカタビラ	ズズメノカタビラ	
	11	Renznick	Reznick	
	16	Renznick	Reznick	
642	図14.17 (b)横軸	0.995	0.990	
		0.99	0.995	
646	27	変数	パラメータ	
655	道標	チョウゲンボウ	チョウゲンボウ	
661	図14.27 (b)横軸の右半分	-0.5	0.5	
		-1.0	1.0	
670	表15.1 (c)	a-b	b-a	
685	図15.8 右下	オタク	オタク	
692	図15.12 説明文1行目	( <i>Lynx canadensis</i> )	<i>Lynx canadensis</i>	
	図15.12 説明文4行目	アカライチョウ ( <i>Lagopus scoticus</i> )	カラフトライチョウ <i>Lagopus scoticus</i>	
694	道標	アカライチョウ	カラフトライチョウ	
	4行目	アカライチョウ	カラフトライチョウ	
	14行目	アカライチョウ	カラフトライチョウ	
699	35行目	b-d	b-e	
700	9行目	リミットサイクル	安定周期軌道	
711	3行目	...必要である. ...	...必要である (第12章参照).	
713	3行目	稀少種	希少種	
717	図15.22 説明文1行目	( <i>Plebejus argus</i> )	<i>Plebejus argus</i>	
723	図15.25			
732	19行目	Pimental	Pimentel	
733	24行目	オランダニレ病菌	ニレ立ち枯れ病菌	
741	図16.3			
743	図16.4 (b), (c), (f)	C 0	C1	計6箇所
746	図16.5 説明文2行目	...信じられていない...	...考えられていない...	
749	1行目	サンホゼカイガラムシ	サンノゼカイガラムシ	
750	11行目	ガ	ヤガの一種	
752	表16.2 説明文2行目	各殺虫剤への抵抗性はどちらも	いずれの殺虫剤への抵抗性も	
753	10行目	Pimental	Pimentel	
758	図16.8			
769	図16.10 (c)	階散布区	回散布区	2箇所
773	23行目	... Yield) として...	... Yield: 最大持続生産量と訳されることが多い) として...	

『生態学』修正一覧

774	図16.11 説明文3行目	...の下で、存在量がどう変化すると期待されるかを...	...の下で期待される存在量の変化方向を...	
774	図16.11 説明文7行目	個体群密度	密度	
774	図16.11 説明文8行目	...密度が小さいときは、	...密度が小さくなると、	
777	図16.13 (b)			
779	4行目	漁獲監視船のための...	漁獲監視船配置のための...	
780	図16.16 縦軸	千方トン	百万トン	
794	図16.24 中央のグラフ縦軸	努力量	漁獲努力	
801	第17章 見出し	本質	特性	
802	7行目	Tansly	Tansley	
802	21行目	...である。	...である (第19章参照)。	
802	28行目	周期表	周期律	
803	図17.1 左下	生物相	バイオーム	
803	図17.1 説明文1行目	生物相	バイオーム	
803	図17.1 説明文2行目	カエデ	サトウカエデ	
803	1行目, 3行目	生物相	バイオーム	2箇所
803	7行目	動植物	微生物	
805	30行目	H	H'	
806	図17.3 縦軸, 右上, 右下, 説明文2行目	H	H'	計4箇所
806	1行目 (式17.3), 3行目 (式17.4), 7行目	H	H'	計4箇所
806	2行目	...表せる,	...表せる.	
808	11行目	優先先取り	優先先取りモデル	
812	図17.6 (b) 凡例			
813	21行目	性質	特性	
816	6行目	superorganism	superorganism	
819	2番目の道標4行目	占有される場合もある	占有されるだけの場合もある	
819	31行目	高潮	満潮	
821	13行目	局所的	局地的	
823	10行目	局所的	局地的	
824	道標		本文2行分下へ移動	
831	3行目	局所的	局地的	
835	道標		次頁 (836) 2行目左へ移動	
852	1行目	カリフォルニア州	カロライナ	
852	図18.11 凡例3行目	カロライナ州	カロライナ	
853	15行目	...の制約,	...の制約.	
859	図18.17 (a) 縦軸目盛の数値	30000, 25000, 20000, 15000, 10000, 5000	3000, 2500, 2000, 1500, 1000, 500	
875	7行目	生物相	生物相 (biota)	
878	3行目	これら全ての場合,	これら全ての場合に,	
878	8行目	生物地球化学	生物地球化学 (biogeochemistry)	
881	表19.1 説明文1行目	コナラ林	ナラ林	
883	14行目	NH <sub>4</sub>	NH <sub>3</sub>	
888	3行目	推進	促進	
891	17行目	...体内の比が...	...体内の比が...	
903	26行目	...その施肥によって,	...それを投与することによって,	
920	21行目	ミシガン	ミシガン州	
923	22行目	島類	陸島	
923	29-31行目	Diamond が挙げた証拠は、... 示唆しているものが多い。	Diamond が挙げたはるかに多くの証拠は、... 示唆している。	
923	31行目	さまざまな島	さまざまな島	
925	表20.1 説明文7行目	TP	TR	
944	3, 4, 6, 9, 32行目 道標1, 2行目	平衡理論, 非平衡理論	平衡説, 非平衡説	計9箇所
945	1行目	理論	説	2箇所
946	図21.1 説明文1行目, 縦軸	調査区画	調査区	2箇所
949	15行目	ブラウザー	ブラウザー: browsr	
950	14行目	切り替え	餌の切り替え	
954	図21.5 右縦軸	ウシノケグサ	ウシノケグサ属	
956	図21.8 (a) 横軸, (c) 縦軸	個体群減少	個体数減少	2箇所
959	10-11行目	確率的避難地... Refuges)	確率的避難場所... Refuge)	
960	表21.1 上の欄	P <sub>1</sub> , m <sub>1</sub> , c <sub>1</sub>	P <sub>1</sub> , m <sub>1</sub> , c <sub>1</sub>	
960	表21.1 下の欄2番目の列1行目	低木のヤナギ	低木小生ヤナギ	
962	29行目	薬類	薬類群	
967	図21.13 横軸の下		微生物場所	追加
969	2行目	Eupomacentrus	Stegastes	
970	表21.3 説明文3行目	...種の事例数を示す。	...種の組み合わせごとの事例数を示す。	

## 『生態学』修正一覧

970	図21.15 説明文5行目	発芽	発芽数	
973	見出21.7.3	非平衡理論	非平衡説	
973	24行目	攪乱(非平衡)理論	攪乱理論(非平衡説)	
976	4行目	キーストーン種	キーストーン種(keystone species)	
978	22行目	動物群	生物群	
979	9行目	密度全体	全体量	
983	図22.3 横軸	1986-90	Sep.86	
983	11行目	ユスリカ幼虫	ニセユスリカ属の一種	
996	表22.2 説明文1,2行目	H	H'	2箇所
997	図22.9 横軸, 説明文2行目	H	H''	2箇所
999	32行目	21	25	
1002	2-3行目	ユスリカの1種	ヌマユスリカ属の一種	
1012	表22.3 下の欄1列目2行目	樹林生物体量	森林生物体量	
1018	図23.4 説明文2行目	カリフォルニア	カリフォルニア州	
1018	図23.4 説明文3行目	コナラ属	ナラ属	
1019	2番目の道標4行目		本文1行分下へ移動	
1032	18-19行目	蓄積	蓄積	
1036	3行目	トリスタン・デ・クンハ島	トリスタン・デ・クーニヤ島	
1038	2行目	<i>Drosophila</i>	<i>Drosophila</i>	
1038	図23.20 説明文8行目	Holloway	Holloway	
1041	13行目	勾配	傾斜	
1041	20行目	物理的攪乱の量	物理的攪乱の程度	
1044	20-21行目	図24.1b	図24.1d	
1048	図24.4 (h)			
1049	図24.5 (c) 横軸の数値	100, 100, 100, 100	100, 1000, 10000, 100000	
1050	13行目	種数	種数	
1051	6行目	一山形	山形	
1055	図24.11 (a) 原点の数値	5	0	
1056	図24.12 (b) 横軸の数値		0を少し上へ移動し, 原点の数値に	
1057	32行目	避難場所	リフュージア(避難場所)	
1058	19行目	無脊椎動物	海産無脊椎動物	
1061	2行目	本章第3.1項	1051頁	
1062	図24.15 3番目のグラフ右上	北緯	南緯	
1062	図24.16 左下	単生綱, 二生亜綱	単生綱, 二生亜綱	
1062	図24.16 横軸	赤道からの緯度の隔たり	緯度	
1062	3-4行目	避難場所(refugia)	リフュージア(避難場所)	
1064	図24.17 (c) 横軸の数値	0	1	
1070	33行目	単弓亜綱	単弓亜綱	
1076	2行目	自覚	認識	
1078	21行目	消費できない	直接消費に関わらない	
1082	表25.2 上の欄の中央の横線 「地理的分布/生息場所の幅」と「大/広い」の間, 「大/狭い」と「小/広い」の間		横線を途切れさせる	
1083	図25.3 縦軸の数値	2.00, 1.30, 0.60, -0.10, -0.80, -1.05	2.0, 1.3, 0.6, -0.1, -0.8, -1.5	
1083	9行目	年間20億匹	年間2億匹	
1087	20行目	有効な集団の大きさ	集団の有効な大きさ	
1091	6行目	quasi extinction	quasi-extinction	
1092	図25.6 説明文1行目	局地個体群	局所個体群	
1093	図25.8 (b) 凡例	30-50, 50-100	31-50, 51-100	
1093	道標 1行目	細分化	断片化	
1095	1番目の道標 1行目	細分化	断片化	
1096	図25.11 説明文3行目	細分地	断片	
1097	図25.12 縦軸	個体群サイズ	個体群の大きさ	
1097	1-2行目	有効な集団の大きさ	集団の有効な大きさ	
1097	9行目	形質	特性	
1104	9, 20行目	変数	パラメータ	2箇所
1106	3行目	変数	パラメータ	
1107	23, 31行目	再移住	再定着	
1108	図25.16 説明文1行目	再移住	再定着	
1108	9行目	花粉媒介者	送粉者	
1112	29行目	地域個体群	局所個体群	
1113	2, 5, 6, 10行目	再移住	再定着	4箇所
1114	4行目	再移住	再定着	
1118	25行目	重要な	重要で	
1140	右1行目	多剤耐性	多剤抵抗性	
1148	右4行目	密度非依存性	密度独立性	
1151	12行目	編者	監訳者	
1152	19-20行目	...思わぬ関連を発見することもできるだろう。	...思わぬ関連も発見できるだろう。	

## 『生態学』修正一覧

1152	24行目	編者	監訳者	
1152	29-30行目	スタートライン	ベースライン	
1153	21行目	和名	生物名	
1154	2行目	...農業名について、京都大学...	...農業名について、千葉県立中央博物館の須之部友基博士にはハゼ類の、京都大学...	
1155	見出	引用文献一覧	引用文献一覧(各文献の末尾の数字は、その文献を引用した本文中の章を示す)	
1211	左6行目	D. Nelson	G. Nelson	